

令和2年度第1回 沿岸広域振興圏宮古地区地域連携懇談会の質問等への回答

開催日：令和2年12月7日（火） 13時30分～15時30分

場 所：宮古地区合同庁舎 大会議室

(1) 令和元年度「沿岸広域振興圏 施策評価」について

委員発言	県の発言	追加の回答、県の取組等
<p>【熊谷勤巳委員】 結婚サポートセンター i サポ宮古について、令和元年度の入会者数については目標を達成したということだが、最終的にはどのくらいのカップルが成婚したのか。目標値はないと思うが、成婚者数が気になる。</p>	<p>【宮古保健福祉環境センター所長】 成婚の実績値は持ち合わせていない。これまでの累計で、約20人が成婚した。登録者数に比べれば割合的には低い、成婚者数は確実に増えている。</p>	<p>【i サポの成婚者数について】 i サポいわて入会者のうち、宮古管内在住の成婚者数は、令和2年12月末までの累計で32人（会員同士21人、会員外との成婚11人）。会員全体の成婚者数は252人。</p>

(2) 令和2年度「沿岸広域振興圏 地域振興プラン」の実施状況について

委員発言	県の発言	追加の回答、県の取組等
<p>【花坂雄大委員】 コロナで亡くなった人より自殺者の方が多いと報道されている。岩手県としても、自殺者を出さないためにサポートしていくことが大事だと思う。中長期的な話ではなく短期で取り組んで頂きたいし、何か取り組んでいることがあれば教えて頂きたい。</p>	<p>【宮古保健福祉環境センター所長】 自殺対策について重要性が高まっており、今年度、自殺対策協議会において管内の4市町村の企業等を訪問して、融資や県のサポート窓口などの情報提供や、自殺対策や心のケアなどの支援について周知を図った。 全国的に女性や子ども、未成年者の自殺は増えている。子ども達の自殺を防ぐ取組、自己肯定感などを身に付けていく取組を学校と連携しながら進め、教職員向けの研修会などで情報提供していく。</p>	<p>【自殺者の傾向について】 警察庁の自殺統計によると、令和2年の本県の自殺者数は前年から微減（R1：276人→R2：274人）となっているが、内訳をみると女性の割合の増加がみられる。 年齢層としては、男女とも働き盛り世代に増加傾向が見られ、原因別では、経済・生活問題を理由とするもの等に増加傾向が見られる。 新型コロナとの関連性は今後分析が必要したい。</p>

(3) 令和3年度「沿岸広域振興局 施策展開の方向性」について

委員発言	県の発言	追加の回答、県の取組等
<p>【熊谷勤己委員】 現在の災害公営住宅の入居率ほどの程度か、また、空き室には、被災者以外も入居可能なのか。 新規に沿岸部に来た方が、水産・農林・製造・建設業などの職種に就業してもらうための手段として、空き室を活用していただきたい。</p>	<p>【企画推進課長】 入居率が分かる資料は、持ち合せていない。 【局長】 災害公営住宅は一義的には被災された方に入居いただくためだが、現在、被災者以外の方の入居も募集している。就業を促進する目的でなく、災害公営住宅の自治会を維持するのに必要な入居者を確保するため。今後の空室状況により検討することとなるが、今の段階では、まだそこまで至っていない。</p>	<p>【災害公営住宅について】 災害公営住宅入居率は別添のとおり。 令和2年度の定期募集（一般の方向けの募集）から、一般募集を開始している。 公営住宅への入居の際には「公営住宅法」で定められた入居要件（住宅困窮要件、収入要件）を満たしていただく必要があり、入居決定にあたり審査させていただいている。</p>
<p>【熊谷勤己委員】 「65歳未満年齢調整死亡率」の表があるが、「脳血管疾患」の数値が大船渡市7.01%に対して、釜石市は23.71%と大きな違いがあるが、大船渡地域では何か特別な取組をしているのか。</p>	<p>【企画推進課長】 大船渡圏域の場合、男性に比べて女性の禁煙率や運動習慣が進んでいることが関係している。また、地域性のようなものがあり、同じ沿岸地域でも北側と南側では、食習慣や生活習慣の違いがある、と理解している。</p>	<p>【大船渡地域の取組について】 大船渡地域での特別な取組は把握していない。 今後、要因を分析したい。 なお、脳血管疾患による死亡率は、県平均では12.89%であるが、地域ごとのバラツキや経年変化が大きく、調査年度においては、大船渡地域が最も低く、釜石地域は最も高くなっているもの。</p>